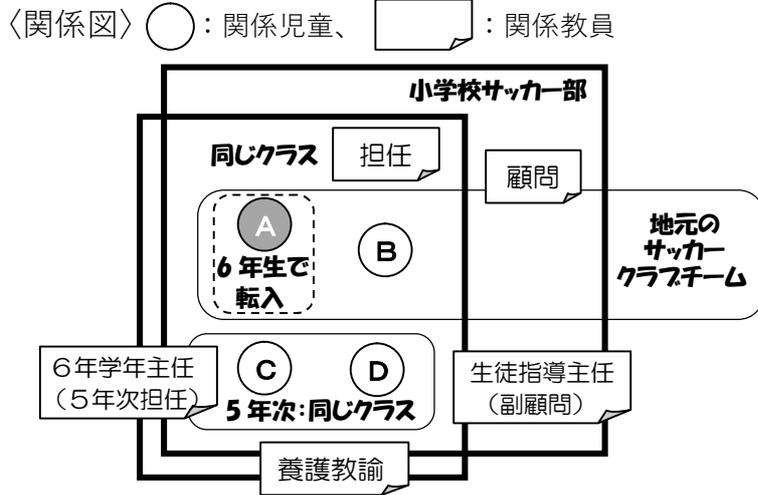


きっかけ 7月中旬懇談会：Aの母からの相談→小遣いの使い方が荒くなった、親の財布から小銭を抜いている
 →他の子からお金を要求されていないか心配（積極的な対応は求めている）
 9月末：2学期からのAの行動が気になり始め、情報を共有した。



※以下、【 情報提供者 情報内容 】を示す（『 』はA、「 」は関係児童、“ ”はその他の言葉）

経緯（影響や状況・様子など）

今年（6年生）、父親の仕事の都合で他県から転校→幼少から習っている得意なサッカー部に入部
 4月

養護教諭 A = 『少し息苦しい』と保健室を利用→年中・小3の転校で『慣れている』と少し休んで教室に戻る

『心配するといけないんで、先生には言わないでください』→保健室利用のことは担任に報告

担任 C = 「すぐにレギュラーなんて、ちょっとは遠慮してほしい」 } B = 「お前らとは実力が違うんだから、しょうがないだろ」
 D = 「Aのおかげでレギュラーの枠が1個減った」

部顧問 A = レギュラー候補入り→『チームに慣れていない…迷惑がかかる』と辞退

5月

部顧問 A = 連休中：Bが所属するクラブチームと合同練習→チームへの入団勧誘→6月から入団

合同練習のメニュー（ボランティアの大学生が考案）→ペナルティあり（児童に好評）

練習後：PK勝負→勝った人にジュースをおごる（判断は応援の保護者に任せ、顧問は何も言わず）

6月

養護教諭 A = サッカーの練習中に足の痛みで来室→『みんなの当たりが厳しい』『これくらい我慢しなきゃ』

養護教諭 A = 練習メニューのペナルティで“ジュースをおごる”→Aはお金を持っておらず、断った

B = 「どうせ、負けるのが嫌なんだろ」 } その後、Aはしばらく
 C = 「ノリが悪い」「けちるなよ」 } 一緒にいても相手にされず、練習中に無視をされる
 → A = 『やるしかないのかな』→自分からジュースをおごることで仲直り

担任 A = 【生活アンケート】 記述なし→面談：『クラスにも慣れ、サッカー部で友達もできて楽しい』

生徒指導 【生活アンケート】〈最近、気になっていることはありますか?〉という設問

6年生：“今度おごるから、今日はおごって”“勝負で負けた方がおごる”などお金に関する記述

5年生：“サッカー部の6年生が、ペナルティでジュースをおごり合っている”ことの影響を心配した記述

→学年集会で“おごり合い”を注意→以後、サッカー部ではなくなった

7月

学年主任 A：休み時間に一人でいることを何度か見かけた

『サッカー以外で友達とうまくかかわれない』『独りでいる方が楽だけど、独りぼっちと思われたくない』

夏休み

部顧問 クラブチームのコーチからの情報

8月から：A = レギュラー候補としてスタメン出場、B = 控え選手に回ることが多くなった

9月

担任 Aの母の話：“あれからは大丈夫そうです。心配をかけてすみませんでした。”

学年主任 放課中に騒ぐ女子児童の話：Aが“好きでもないのに告白してくるので、止めさせてほしい”

※このような行為を何人かの女子に対して行っているという

担任 告白行為について…A = 『4人で決めた罰ゲーム』→『もうやめる』

Aの母の話：A『自分ばかり負けただけ…みんなに迷惑をかけるようなことはもうしない』と話す

養護教諭 A = 『他の子に迷惑がかかるから止めたい』とB・C・Dに伝えた

→B・C・Dに「本気じゃないんだし、みんな笑ってただろう」と言われ、相手にしてもらえなかった

学年主任 B・C・Dからの話

B = 「テレビで見た罰ゲームのまねをしてやってただけで、たまたまAが連続で負けた」

C = 「嫌がってたかもしれないけど、みんな笑ってたからいいかなと思った」

D = 「みんながやろうと言ったから、その場のノリでやってた」

● その他の情報

・学年主任 Cの母の相談（1年前）：5年生のとき、Cが親の財布からお金を持っていき、注意をされた

C = 「Aが転校してきて、レギュラーになれないかも」と心配

● Aの気持ち

『転校をしてきて、後から入ったから、多少のことは我慢すればいいと思う…そうしないと、友達はつくれるい。

友達がいらないなんて格好悪いから、親にはそう思われたくないし、よけいな心配もかけたくない。』

『お金のことは親に迷惑をかけて嫌だったけど、もうおごったりしなくていいから大丈夫。サッカーさえできればいいから、みんなとの関係が悪くなるようなことはしたくないし、してほしくない』